

第 17 回 日中情報サービス産業懇談会 開催報告

JISA と中国ソフトウェア産業協会（CSIA）との間で行っている日中情報サービス産業懇談会は、7 年間の中断の後、昨年 7 月に山東省済南で再開されたが、今年は 2019 年 11 月 5 日（火）に KKR ホテル東京において第 17 回懇談会を開催した。

中国より 46 名が来日し、国内からの参加者をあわせ、計約 130 名が参加した。夜には夕食会が行われ、日中両国からの参加者間での交流を深めた。また、翌 11 月 6 日には、つくば市にある産業総合研究所と宇宙航空研究開発機構（JAXA）を視察訪問した。

下記に概要を報告する。



JISA 岩本副会長・国際連携委員会委員長

1. 日中情報サービス産業懇談会

最初に、JISA 副会長・国際連携委員会委員長、(株)NTT データ 相談役の岩本 敏男氏より、歓迎挨拶と基調講演が行われた。

岩本副会長は、日本の情報サービス産業の概要や世界におけるデジタル・トランスフォーメーションの進展について触れた上で、今後、AI や IoT などの先進技術が、人間にとってよりよい社会を作る助けになる一方、そのような先進技術を活用するための共通ルールが必要であることを強調し、日中両国間においても、このような交流の場を継続し、今後も相互に協力していきたいと述べた。

次に、中国ソフトウェア産業協会（CSIA）呂 衛鋒 理事長から答礼の挨拶に続いて、同じく CSIA の付 曉宇 副秘書長より、「中国のデジタルエコノミー産業の発展と展望」と題し、中国のデジタルエコノミー産業の発展状況について発表が行われた。



CSIA 呂 副理事長

続いて、日本の経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア・情報サービス産業戦略室の田辺 雄史室長より、「デジタル前提の社会」と題し、Society 5.0 を実現するための Connected Industries に関わる取り組みや DX 推進政策について紹介が行われた。

また、(株)日立製作所 社会イノベーション推進事業本部 デジタルサービス本部 本部主管で、(一社) インダストリアル バリューチェーン イニシアティブ (IVI) の理事・フェローでもある堀水 修氏からは、「CPSと「ものづくりデータ取引」について－Connected Industries Open Framework(CIOF): 製造業オープン連携フレームワークによる近未来のものづくり－」と題して講演が行われた。



IVIは、「人・現場主体」で日本の製造業の高度化を目指し、企業の垣根をこえて人と人がつながる「場」を提供することを目的に活動を行っており、そのコンセプトは「つながる工場」（デジタルデータによってつながることで、業務連携におけるムリ、ムラ、ムダをなくす）、「ゆるやかな標準」（連携のための接続仕様をローカルから徐々に変更でき、競争領域での自社の強みを保つことができる）。「ものづくりデータ取引」とは、製造業が生み出すデータを、信頼する第三者に提供することで、相手の知識や業務との連携を深め、相互につながることを通して得られた付加価値を、あらかじめ定めた契約にしたがって配分することが可能なくみであり、この構想実現のためのIVIの取り組みについて紹介が行われた。

日本側よりもう一人、JISA国際連携部会 担当部会長で、(株)野村総合研究所 デジタルビジネス推進部上席研究員の横澤 誠氏から、「越境電子商取引について－日中間ビジネスの架け橋と共同グローバル市場開拓－」と題して発表が行われた。中国における電子商取引は、日米をしのぐ速さで大きく成長しており、今後もさらに増えることが見込まれるが、国境を越えた電子商取引には、個人情報保護やデータフローに関わる規制が国によって異なっており、その成長を阻害する可能性がある。グローバルに電子商取引を促進するためには、例えば個人情報保護についてはAPECの定める個人情報保護規則であるCBPRなどの共通のルールが必要であり、日中両国間においても、電子商取引を今後さらに促進するために協力していくことが重要であると述べた。



(株)野村総合研究所 横澤氏

中国側からは、東軟グループ高級副総裁兼 COO 陳 錫民氏より、これまでの 28 年間にわたる日中間でのビジネスと協力体制について、また用友ネットワーク科技有限公司 副総裁 郝 偉明氏からは、同社のクラウドサービスや IoT ビジネスについて、また DATATANG(北京)科技股份有限公司 CEO 齊 紅威氏からは、「データドリブン型 AI」と題し、AI の急速な発展と共にデータビジネスが成長する一方、セキュリティや個人情報保護などの問題も重要になってきていると述べた。

最後に、(株)シーエーシー 理事で、JISA 国際連携部会 担当部会長の大須賀正之氏がモデレーターとなり、すでに講演を行った日中双方の講演者をパネリストとして迎え、「日中間ビジネス推進のための協力」と題してパネルディスカッションが行われた。まず各講演者が話した内容について、キーとなる重要なポイントやさらに深掘りした話などを聞いた後、今後、日中間のビジネスの推進のための方向性などについて話を聞いた。



パネルディスカッション（モデレーター: CAC 大須賀氏）

2. 夕食会

会議後、同会場において、着席の夕食会が開催された。岩本 JISA 副会長の乾杯の挨拶で始まり、最後は CSIA 呂 副理事長の謝辞で幕を閉じた。

(河内)